

LCIG 療法と誤嚥性肺炎・創感染の発生に関する研究の情報公開文書

【研究課題名】

LCIG 療法導入後の誤嚥性肺炎・創感染の発生と口腔内状態との関連について
～デュオドーパ配合経腸用液による治療を受けた方の口の中の状態と、肺炎や胃ろう部の感染に関連はあるのか～

1. 研究の目的

LCIG 療法中患者の誤嚥性肺炎・創感染と口腔内状態の関連を明らかにする

2. 研究の方法

●対象となる患者さん

2014年1月～2019年11月に当院でLCIG療法を受けられた方

●研究期間

令和元年11月12月1日～令和2年2月28日

●研究に用いる検体・診療情報の種類

診療情報：病歴、年齢、性別、肺炎罹患の有無、OAGスコア、MMSE、BMI、
創感染の有無、血液検査、RSST、MWST（嚥下機能スクリーニング）等

3. 検体・診療情報の管理

診療情報は、当院のみで利用します。

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

宇多野病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名、住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っております。

4. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、いつでも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都市右京区鳴滝音戸山町8

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 電話番号（代表）075-461-5121

研究責任者：3-2病棟 看護師長 小林朱美